

自分のマネジメントや大学生生活の過ごし方にもプラスの考え方で生活できるよう、図に表して向上心を高めていこうと思います。	改めて多摩大学の偉大さを感じました。小豆島でセミナーができた、色々一大変化した大学だと思うので、感謝し、一生懸命頑張ります。	スケールが大きくイメージがしづらかった。学生寮興味ありますが、ルームシェアなのが嫌です。マンション、アパートの一室みたいならば検討します。	ためになることが多かった。		
私にはまだまだ足りない部分だと感じています。	先生のブログ「今日も生涯の一日なり」に興味があったので、読んでみたい。	日本史も図解で分かりやすく、苦手なもので分かりやすく頭に入ってくると思いました。	図解は今までの勉強法とは異なり、学べることが多く増えると思った。		
少壮老死という言葉が良かった。	15回頑張ってみようと思えた。	毎日、一日大切に生きる。	アベノミクスについてもっと詳しく聞きたいと思った。今後の授業でもっと取り上げてほしい。	図解だと物事の情報や関係が一目で分かる。	図の作り方を学んでいこうと思った。
図解を自分の武器の一つにして、他の講義のメモを取る時などに活用し、さらなる知識を上手く得られるようにしたい。	この図解にするスキルを身につければ、就職活動でも使えると聞き、頑張ろうと思った。出席を完璧にし、教授の話聞き、ノートにまとめて、自分にどんどん吸収していきたい。質問をどんどんし、分からないことを無くそうと思います。	どこの大学と聞かれ、「多摩大学」と答えると、多くの人に「どこ？」と聞かれます。東京都の多摩市と言っても伝わりません。			
図を綺麗に書けるよう習得したい。	何事も平面ではなく立体に見る事が大事ということが分かった。	橋本地域が10数年の間にガラリと変わる。	多摩地域について詳しく説明できるようにになりたい。	多摩センターや多摩市にどのような思いでいるのか？永山はどのように発展するのか？	
世界の動きが分かって、おもしろく興味を持てた。このような授業は他に無いのでとても良いと思う。	物事を相手に伝えるための手段として活用していこうと考えた。将来のためにも積極的に学んでいこうと思った。	「百聞は一見に如かず」という言葉もあるように、目から取り入れた情報は大きく、説得力があった。	俯瞰する視点に転換することを早い段階から慣れると、判断力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力に役立つ。		
大学で学ぶ意味を改めて考えることができて、非常に有意義だった。	今まで見たことがない新鮮な講義になりそうで楽しみです。	「少壮老死」という言葉から、私たちが勉強しなければならない意味を少し理解できた。	歴史を知らなければ	とても分かりやすかった。	
図を書いて相手のことを理解し、自分の知見の幅が広がった。広い視野で物事を見れると感じた。広い視野で見れば、社会に適應しやすい。	相模原近辺に住んでいるため、10数年後に大都会になることを今日知った。就職について、公務員についての話を聞いてみたい。	久恒先生は数々の事をしており、いろいろな観点から物事を見る事が出来る方だと思った。	図解を使うことにより理解が深まる。講義をしっかり受け自分のものにしていきたい。		
図でメモを取ることを身につけたい。	プレゼン上手になりたいので頑張りたい。	久恒先生のことが良く分かった。鳥の目線になり図解を作るという講義。	鳥瞰図が見やすく凄と思った。	スーツ姿がとても似合っていました。穏やかでとてもいい先生だと思いました。	
久恒先生の書いた図解は複雑で自分には理解しきれなかった。	今まで文章が当たり前だと思っていましたが、図で書くことにより頭の中に残ると説明を受けて講義を受けたいと思った。	図解のスキルを磨いていきたい。	図やメモを取ることでより理解しやすい事が分かった。		
とてもワクワクした。自分も久恒先生のように上手く表現できるようにしたい。図解表現という方法を使って一番為になったことは何ですか？	自分の将来像が決まっていなくて焦りも感じた。この一年で色々な経験をして将来像を見つけ、目標を定め何が必要かを調べ、自分の好きな職表につきたい。	多摩地域の地図がとても細かく分かりやすかったので、15回の講義を通して、自分もそれ以上の図が描けるようになりたい。			
図解がパッと頭に浮かぶ能力と、図解をパッと書ける能力を比較した場合どちらを身につけるべきですか？図解力がつけば、読解力も上がりますか？	今までやった一番の失敗は何ですか？実務が多い授業にしてほしい。うるさい人にもっときびしくしてほしい。	図を書けるようになることは本を読むより大切だと思った。	つまらない授業が多いので、面白い授業にしてほしい。		
図を学ぶことで物事の説明がうまくなるでしょうか？	「今日も生涯の一日なり」「少壮老死」の言葉は一日を大事にしないでほしいと思える言葉だった。				

大学に進学した理由の全部に共通しているのは、社会で役立つ技術や知識を身につけたいということが分かった。少壮老死の説明などとても分かりやすく興味を持った。今後も哲学など色々な知識をこの授業で身につけたいと思った。

図を使ったコミュニケーションは分かりやすく1つのツールとして良い方法だと思った。鳥視点で見る図解に興味を持った。

多摩地域を上から見た地図に興味を持った。先生の話がゆっくりで分かりやすく、これからもこの講義に出たい。教室が明るくスクリーンが見づらかった。

多摩地区の良さ凄さが改めて分かった。もっと詳しく色々な多摩地区の事を聞きたい。

考えていることの整理を付けることができると思った。

図が新たな武器になるということが分かった。

Facebookを見ていて、「今日は生涯の一日なり」という言葉はいつも心に響いてます。先生の本を読みたいです。日常で図が活用できる場はありますか？

面白そうな講義だと思った。

文章だけでなく図を用いると、伝わり方が、やり方一つでこんなに変わることを知れた。

先生のブログいつも見えます。将来のためにしっかり勉強します。

将来のことについてしっかり考えようと思った。今後是非読んでみようと思った。

鳥の目を持って広い視野で世の中、スポーツをしている時など見えるようにしていきたい。

図を書くことによって、幅広い教養を身につけていきたい。

この講義を受けることによって、自分がどれだけ成長できるのか楽しみです。

昨年の秋学期のビジネスコミュニケーション入門で受けたことがあるが、一番良かった先生が久恒先生だ。図解を深く知ることができるから、楽しんだ。

少壮老死が凄く分かりやすかった。出席50%だということなので頑張っていきたい。先生の本を読みたい。ブログたまに拝見してます。Facebook友達申請します。

図解を用いることは生きて行くことに必要不可欠なものだと分かった。

世の中に図解があまり浸透しているイメージがない。図解の欠点があれば教えてほしいです。

多摩大に対する熱い思いが伝わって、自分も夏までに図を書けるようになりたいです。

今日も生涯の一日なり、という言葉は、一日一日をより大事に過ごした方がいいということを実感しました。

多摩大学は成長段階の地域に囲まれており、今後発展してくれると良いと思う。

久恒先生の自分を紹介するページがとても見やすく、分かりやすかった。圏央道ができたのでとても便利になった。一日一日を大切に生きる。

自分の武器を増やせる事にとってもやる気を見出せた。

論理的な思考を身につけることができることが分かった。

「なぜ学ぶのか」言われてみると中々難しい質問だった。私は「問題解決のため」だと思う。

「少壮老死」とても良い言葉だと思った。北斗の拳のラオウ「わが人生に一片の悔いなし」という言葉と何か似ているものがあると感じた。

日本と世界がどう違うのかももっと明確に知りたい。通用するようコミュニケーション能力を高めていきたい。

同じことを繰り返すよりももう少し内容のある説明が欲しい。図を書く上での工夫や注意点などの説明を増やしてほしい。

講義に出席し、課題をこなせば単位は取れるし、大学で身に付く武器になるので自分なりに頑張りたい。

大学で学ぶことの大切さが分かりました。多摩大学ならではの貴重な講義だと、無駄にしたくないと感じた。将来に役立てたいと前向きな姿勢になった。

身につければ絶対に役立つので、がんばりたい。

要点がはっきり見えるので図で表せるようになりたいと思った。

教養人はどのように生きるかを考える人だと聞き納得した。「今日は生涯の一日なり」というのがかっこよかった。確かに図は覚えているものが多かった。図を書く時のスタート(準備)はどのようにするのですか？

先生のHPのリンクは使いやすそうだったので、今後利用してみたいと思う。

図解の重要さが分かった。私たちが20代後半、30代になったときに、多摩地域や橋本がどのように発展しているのを楽しみにになりました。

15回休まずに出席したい。

図の能力を身につけ言葉との関係性など学んで行きたい。自分なりの志に届く人材を目指したい。

私は就活生なので、学んだことを活かせればと思う。

社会の出来事を把握するのに使えると思った。

「勉強」が必要な理由が、大人になってから後悔させないようにする為、という事を学べた。「現代の志塾」を就活活動の時にアピールするのも良いポイントだということも学べた。

鳥の視点から図を作る斬新な考えでとても興味をそそる授業だと思った。

江戸幕府の図が分かりやすかった。

毎回の講座をしっかり取り組みたい。

図でメモを取ることを聞いたことが無かったので良かった。

図解という武器を手に入れるために、積極的に取り組みたい。

鳥の目で見えるように全体を見えるように考えるということが良いと感じた。